

## 令和4年度 地域ケアケース会議(地域の実態把握)

地域の実態把握のために、事務局である高齢者あんしんセンターが地域の関係機関などに積極的に出向き、地域の高齢者に関する実態や社会資源の情報収集を行い、地域ケアケース会議に、その意見をあげていくように努めている。

### 内容

- ① 地域の現状の把握 ② 社会資源情報の集約及び提供

### 現状

- ① 地域ケアケース随時会議(地域の実態把握)

#### 【会議を行った団体数】

テーマ 圏域	認知症	見守り	介護予防	地域連携	防災	その他 (※)
1 圏域	11	12	8	16	2	2
2 圏域	6	13	32	16	2	1
3 圏域	7	19	20	7	3	2
4 圏域	24	3	10	6	2	9
5 圏域	15	15	11	20	1	0

※その他内訳

地域の情報収集、世代間交流、居場所づくり、特殊詐欺、安全対策等

※団体の詳細については、別紙参照

- ② 合同専門職会議

高齢者あんしんセンターでは、職種にこだわることなく、それぞれの専門性を活かした視点から「課題の共有」、「職種間の意思疎通」、「チームアプローチの実践」を目的に各テーマを設定し、合同専門職会議を開催している。

「地域支援ネットワークづくり会議」では、地域の様々な課題に対し地域や各関係機関と連携を図りながら、その解決を目指す取り組みを行っている。

「介護予防推進会議」では、自立支援に向けて高齢者・ケアマネジャー・サービス提供事業者の意識を高める取り組みを行っている。

「ケアマネジャー連携会議」では、ケアマネジャーとのより深い連携を目指した取り組みを行っている。

- ③ 高齢者虐待ケース全体評価会議(レビュー会議)

高齢者虐待情報を一元的に管理し、地域的な傾向の把握、ケースに共通する課題や地域課題の抽出、虐待防止に向けた地域づくりや体制を整えることを目指し、「レビュー会議」を開催している。

## まとめ

高齢者あんしんセンターが地域に出向き、関係機関等と意見交換を行うことで、地域の課題の把握に努めている。地域での会議内容で多いものは「認知症」「介護予防」「地域連携」といったテーマが多く、地域の関心の高さがみられた。また、高齢者虐待の傾向からは虐待発生の背景には、孤立や貧困、養護者自身も複合的な課題を抱えるケースが多くみられる。

このような課題から、高齢者の支援にあたっては、高齢者あんしんセンターと関係機関との、より充実した連携が必要であると考えます。地域ケア会議の活発化、医療と介護の連携のさらなる連携、認知症支援にかかる関係機関との連携等を通じ、高齢者をとりまく関係機関と連動した取り組みを検討していく。